

令和3年2月25日
四国電力株式会社

分散型エネルギー事業の推進に向けた体制強化について

当社は、次なる成長エンジンの創出・育成を通じた収益力の変革を目指し、新たな事業領域の開拓に向けた取り組みを進めております。

こうした中、エネルギー分野における今後の成長領域と目される分散型エネルギー事業の推進に向けた取り組みを強化するため、本年3月1日付で、新規事業部内に「分散型エネルギー事業推進室」を設置することといたしました。

太陽光、風力等の再生可能エネルギーや蓄電池、電気自動車などの分散型エネルギーリソース（DER：Distributed Energy Resources）は、脱炭素社会の実現に向けて導入が進んでいるほか、近年激甚化する台風や豪雨などの災害に強い電力システムを構築する面でも、その活用が期待されております。

このたび、新たに設置する「分散型エネルギー事業推進室」では、こうしたDER活用への期待をビジネスチャンスと捉え、DERに関する新たな事業やサービス創出を強力に推進することとしております。

環境負荷の低減や災害対策などのニーズの高まりに伴い、エネルギー分野の脱炭素化・分散化は今後一層注目されていくものと考えており、当社としても、DERの拡大に積極的に取り組んでまいります。

<新規事業部の組織整備>（令和3年3月1日付）

- ・新規事業部内に「分散型エネルギー事業推進室」を新たに設置

〔これまでVPP*の事業化に向けた取り組みなどを担ってきた「新技術活用プロジェクトチーム」を同室に改組する。〕

- ・同室は、VPPの事業化検討を行う「VPPユニット」、太陽光発電（PV）および蓄電池関連の事業化検討を行う「PV、蓄電池ユニット」、DER活用の先進的な知見獲得と協業を目的とした海外案件への投資を行う「国際投資ユニット」の3ユニットから構成

※ VPP：Virtual Power Plant の略。複数の小規模な発電設備や蓄電設備をまとめて制御し、大規模な発電所と同等の機能を提供するもの。

○整備後の主な組織の図

